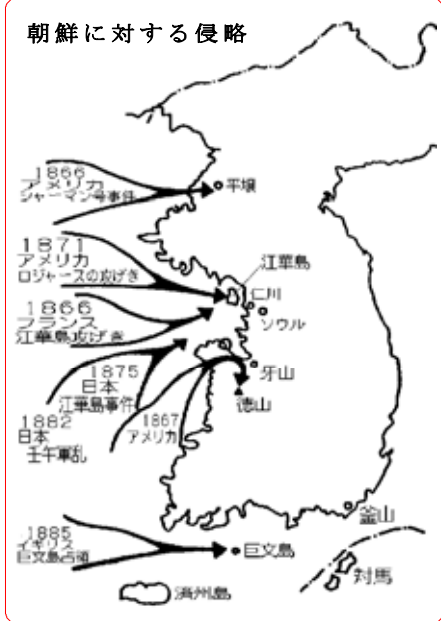
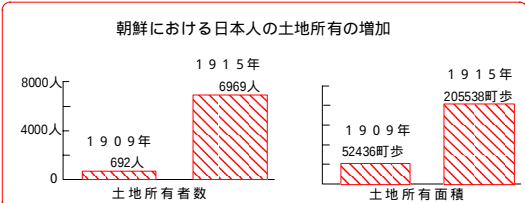


西暦	朝鮮の主なできごと		朝鮮と日本のかかわり		日本の主なできごと		西暦																									
約200万年前	旧石器時代		人類が現れる 朝鮮半島と日本が陸続きの時代 日本列島はまだできておらず、ユーラシア大陸の東はしにあった。			旧石器時代																										
約1万年前			氷河時代が終わる		日本列島ができる		約1万年前																									
約7000年前	原始社会	櫛目紋土器(くしめもんどき) ←	よく似ている土器 →		縄文(じょうもん)式土器 狩りや漁の生活	縄文時代	約7000年前																									
		農耕生活・家畜の飼育	(¹ 稲作)が、中国や朝鮮半島から伝わる。 青銅器や(² 鉄器)も稲作とともに、中国や朝鮮半島から伝わる。		稲作の始まり？ 稲作が始まる (弥生式土器・農耕)	弥生時代	B.C300																									
		青銅器や鉄器を使用			(³ 青銅器)や鉄器が、稲作とともに、朝鮮半島や中国から伝わる。		B.C100																									
B.C108	漢の支配	漢(中国)が楽浪郡を置いて、朝鮮半島を支配。																														
B.C.37		高句麗(こうくり)がおこる。																														
A.D313	三国 (高句麗・新羅・百済)	高句麗が楽浪郡を滅ぼす。	5～6世紀にかけて、多くの(⁴ 渡来人)が日本に移り住む。 ↓ 渡来人から、日本は(⁵ 漢字)や儒教や(⁶ 須恵器)などのほかに、(⁷ ため池)・用水路づくり、高級な絹織物の技術を学んだ。 さらに、政治制度面でも、日本は渡来人に学んだ。		卑弥呼が邪馬台国の女王となる。卑弥呼が魏に使いを送り、親魏倭王の称号を受ける(魏志)。	古墳時代	189 239																									
346		百済(くだら)がおこる(～663)。			倭軍が百済と結び、新羅を破り加羅(任那)を領有する。		369																									
356		新羅(しらぎ)がおこる(～935)。			倭軍が朝鮮へ侵入し、百済と新羅を征服する。		391																									
		多くの人々が、日本へ移り住むため、朝鮮半島から出ていく。 →			倭軍が高句麗軍と戦い、大敗する		400 ～404																									
660 663		百済が日本に救いを求める。唐と新羅が、百済を滅ぼす。この後、百済の人々が日本へおおぜい移住する。	日本の(⁸ 古墳)づくりの技術に渡来人の智恵 7～9世紀にかけて、日本は外国のすすんだ文化を取り入れるため、使節を交流したり貿易をした。 遣唐使 ... 中国(唐) 遣新羅使 ... 朝鮮 遣渤海使 ... 朝鮮		聖徳太子が摂政となる。 第1回の遣唐使を派遣。 大化改新 日本軍が白村江の戦いで、唐と新羅の連合軍に大敗する。→朝鮮から撤退。	飛鳥時代	593 630 645 663																									
676	新羅	新羅が朝鮮半島を統一しはじめる(～918)。			平城京に都を移す。		奈良時代	710																								
713		渤海がおこる。	外国との国交(使節の交流)		渤海の使いが日本に初めて来る。 奈良の東大寺と(¹⁰ 大仏)がつくられる。 渡来人の子孫の(¹¹ 行基)が勧進元	727 752																										
				<table><tr><th>外国</th><th>日本から</th><th>日本へ</th><th>年</th></tr><tr><td>中国</td><td>唐</td><td>9回</td><td>なし</td></tr><tr><td rowspan="2">朝鮮</td><td>新羅</td><td>25回</td><td>47回</td></tr><tr><td>渤海</td><td>13回</td><td>36回</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>702年～894年</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>670年～779年</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>700年～929年</td></tr></table>	外国	日本から		日本へ	年	中国	唐	9回	なし	朝鮮	新羅	25回	47回	渤海	13回	36回				702年～894年				670年～779年				700年～929年
外国	日本から	日本へ	年																													
中国	唐	9回	なし																													
朝鮮	新羅	25回	47回																													
	渤海	13回	36回																													
			702年～894年																													
			670年～779年																													
			700年～929年																													

西暦	朝鮮の主なできごと		朝鮮と日本のかかわり		日本の主なできごと		西暦														
約200万年前	旧石器時代		人類が現れる 朝鮮半島と日本が陸続きの時代 日本列島はまだできておらず、ユーラシア大陸の東はしにあった。			旧石器時代															
約1万年前			氷河時代が終わる		日本列島ができる		約1万年前														
約7000年前	原始社会	櫛目紋土器(くしめもんどき) ←	よく似ている土器 →		縄文(じょうもん)式土器 狩りや漁の生活	縄文時代	約7000年前														
農耕生活・家畜の飼育		(¹)が、中国や朝鮮半島から伝わる。			稲作の始まり？																
青銅器や鉄器を使用 →					稲作が始まる (弥生式土器・農耕)																
B.C108	漢の支配	漢(中国)が楽浪郡を置いて、朝鮮半島を支配。	(²)も稲作とともに、中国や朝鮮半島から伝わる。	(³)や鉄器が、稲作とともに、朝鮮半島や中国から伝わる。	弥生時代	B.C300 B.C100															
B.C.37		高句麗(こうくり)がおこる。																			
A.D313	三国 (高句麗・新羅・百済)	高句麗が楽浪郡を滅ぼす。	5～6世紀にかけて、多くの(⁴)が日本に移り住む。 ↓ 渡来人から、日本は(⁵)や儒教や(⁶)などのほかに、(⁷)・用水路づくり、高級な絹織物の技術を学んだ。 さらに、政治制度面でも、日本は渡来人に学んだ。	卑弥呼が邪馬台国の女王となる。 卑弥呼が魏に使いを送り、親魏倭王の称号を受ける(魏志)。	古墳時代	189 239 369 391 400～404 538															
346		百済(くだら)がおこる(～663)。		倭軍が百済と結び、新羅を破り加羅(任那)を領有する。																	
356		新羅(しらぎ)がおこる(～935)。		倭軍が朝鮮へ侵入し、百済と新羅を征服する。																	
		多くの人々が、日本へ移り住むため、朝鮮半島から出ていく。 →		倭軍が高句麗軍と戦い、大敗する																	
				百済より(⁹)が伝わる。																	
660 663		百済が日本に救いを求める。 唐と新羅が、百済を滅ぼす。 この後、百済の人々が日本へおおぜい移住する。	日本の(⁸)づくりの技術に渡来人の智恵 7～9世紀にかけて、日本は外国のすすんだ文化を取り入れるため、使節を交流したり貿易をした。 遣唐使 ... 中国(唐) 遣新羅使(^{しらぎ}) 遣渤海使(^{ぼっかい}) ... 朝鮮	聖徳太子が摂政となる。 第1回の遣唐使を派遣。 大化改新 日本軍が白村江の戦いで、唐と新羅の連合軍に大敗する。→朝鮮から撤退。	飛鳥時代	593 630 645 663															
676 713	新羅	新羅が朝鮮半島を統一しはじめる(～918)。 渤海(^{ぼっかい})がおこる。	外国との国交(使節の交流) <table><tr><th>外国</th><th>日本から</th><th>日本へ</th><th>年</th></tr><tr><td>中国</td><td>唐</td><td>9回</td><td>なし</td></tr><tr><td rowspan="2">朝鮮</td><td>新羅</td><td>25回</td><td>47回</td></tr><tr><td>渤海</td><td>13回</td><td>36回</td></tr></table>	外国			日本から	日本へ	年	中国	唐	9回	なし	朝鮮	新羅	25回	47回	渤海	13回	36回	平城京に都を移す。 渤海の使いが日本に初めて来る。 奈良の東大寺と(¹⁰)がつくられる。 渡来人の子孫の(¹¹)が勸進元
外国		日本から		日本へ	年																
中国		唐		9回	なし																
朝鮮	新羅	25回	47回																		
	渤海	13回	36回																		
			平安京(京都)に都を移す。	794																	

西暦	朝鮮の主なできごと	朝鮮と日本のかかわり	日本の主なできごと	西暦
918	新羅がほろび、高麗がおこる。		遣唐使の廃止。	894
935	高麗が朝鮮半島を統一する。		平安時代	
1231	元軍に攻められる。(約30年間)		保元の乱(武士の進出) (日宋貿易)	1156
1273	高麗が元軍に敗れる。		源頼朝が征夷大將軍となる。 (鎌倉幕府)	1192
1389	高麗が対馬を攻める。	このころ、倭寇が朝鮮沿岸を荒らす。 ↓ 高麗が日本へ、倭寇をとりしめるように 使いを送る。	元軍が九州に襲来(文永の役)。 元軍が九州に再来(弘安の役)。	鎌倉時代 1274 1281
1392	(¹² 李成桂)が高麗を滅ぼし 李氏朝鮮をおこす。	(¹³ 室町幕府)は、貿易だけでなく 約150年間にわたり、朝鮮に使節を送り、 また、朝鮮からも日本に使節が来た。 両国は友好関係を続け、日本国王使の 派遣は60回ほどにのぼっている。 なお、室町幕府が派遣した遣明船は、 18回だった。	足利尊氏が室町幕府を開く。 勘合符貿易(日明貿易)はじまる。	室町時代 1338 1404
1419	朝鮮が再び対馬を攻める。		日本と(¹⁴ 朝鮮)の貿易が開か れて、もめんの布や教典などが日 本に輸入された。やがて(¹⁵ 綿) の栽培方法も伝わる。	戦国時代 1424
	陶磁工、活字工、製紙工、学者ら をふくむ数万人の人が、日本の武 士に日本へ連れて行かれる。	2度にわたる戦いで、朝鮮の(¹⁷ 民衆) が受けた被害は大きく、田畑が荒れて (¹⁸ ききん)が続いた。 日本でも民衆のくらしに大きな打撃を 与えた。	豊臣秀吉が全国を統一する。 秀吉が(¹⁶ 朝鮮)を侵略する。 (文禄の役) 秀吉が再び朝鮮を侵略する。 (慶長の役)	安土・桃山時代 1590 1592 1597
			この時に渡来した陶磁工たちによ って、今に伝わる薩摩焼(鹿児島 県)、有田焼(佐賀県)、萩焼(山口 県)などの焼き物が作られ、茶の 湯や日用品として使われた。	
		朝鮮通信使	関ヶ原の戦	1600
		○(¹⁹ 鎖国)をおこなっていた 日本において朝鮮だけが、対等の外 交と貿易の相手国とされた。 中国、オランダとは貿易だけであ った。また、琉球は外交使節を日本 に派遣したが、上下関係がつけられ ていた。	徳川家康が征夷大將軍となる。 (江戸幕府を開く)	1603
		○徳川家康は、熱心に朝鮮との友好を 求めた。 朝鮮は、なかなか応じなかったが 1607年に朝鮮から日本へ、 1609年に日本から朝鮮へ、 それぞれ使者が派遣された。	日本人の海外渡航禁止。 ポルトガル人の来航禁止。 (鎖国の完成)	江戸時代 1635 1639
	日本から、さつまいも、とうがら し、タバコが伝えられた。 『友だち』p.183を 読んでみよう。	○その後、 朝鮮で新しい国王が決まったとき ...日本から朝鮮へ、 徳川の将軍が代わったとき...朝鮮 から日本へ、 使いが送られた。 この朝鮮側からの使いを (²⁰ 朝鮮通信使)という。	朝鮮から日本へ、12回の通信使 が来ている。 その中には、学者や医者、陶工 などがいて、日本文化に大きな影 響を与えた。 当時、朝鮮から、木綿、人参が 伝えられた。	

西暦	朝鮮の主なできごと	朝鮮と日本のかかわり	日本の主なできごと	西暦
918	新羅がほろび、高麗がおこる。		遣唐使の廃止。	894
935	高麗が朝鮮半島を統一する。		平安時代	1156
1231	元軍に攻められる。(約30年間)		保元の乱(武士の進出) (日宋貿易)	1192
1273	高麗が元軍に敗れる。		源頼朝が征夷大將軍となる。 (鎌倉幕府)	1274
1389	高麗が対馬を攻める。	このころ、倭寇が朝鮮沿岸を荒らす。 ↓ 高麗が日本へ、倭寇をとりしめるように 使いを送る。	元軍が九州に襲来(文永の役)。 元軍が九州に再来(弘安の役)。	1281
1392	(¹²)が高麗を滅ぼし 李氏朝鮮をおこす。	(¹³)は、貿易だけでなく 約150年間にわたり、朝鮮に使節を送り、 また、朝鮮からも日本に使節が来た。 両国は友好関係を続け、日本国王使の 派遣は60回ほどにのぼっている。 なお、室町幕府が派遣した遣明船は、 18回だった。	足利尊氏が室町幕府を開く。	1338
1419	朝鮮が再び対馬を攻める。		勘合符貿易(日明貿易)はじまる。	1404
			日本と(¹⁴)の貿易が開か れて、もめんの布や教典などが日 本に輸入された。やがて(¹⁵) の栽培方法も伝わる。	1424
			豊臣秀吉が全国を統一する。	1590
	陶磁工、活字工、製紙工、学者ら をふくむ数万人の人が、日本の武 士に日本へ連れて行かれる。	2度にわたる戦いで、朝鮮の(¹⁷) が受けた被害は大きく、田畑が荒れて (¹⁸)が続いた。 日本でも民衆のくらしに大きな打撃を 与えた。	秀吉が(¹⁶)を侵略する。 (文禄の役) 秀吉が再び朝鮮を侵略する。 (慶長の役)	1592
			この時に渡来した陶磁工たちによ って、今に伝わる薩摩焼(鹿児島 県)、有田焼(佐賀県)、萩焼(山口 県)などの焼き物が作られ、茶の 湯や日用品として使われた。	1597
		朝鮮通信使	関ヶ原の戦	1600
		○(¹⁹)をおこなっていた 日本において朝鮮だけが、対等の外 交と貿易の相手国とされた。 中国、オランダとは貿易だけであ った。また、琉球は外交使節を日本 に派遣したが、上下関係がつけられ ていた。	徳川家康が征夷大將軍となる。 (江戸幕府を開く)	1603
		○徳川家康は、熱心に朝鮮との友好を 求めた。 朝鮮は、なかなか応じなかったが 1607年に朝鮮から日本へ、 1609年に日本から朝鮮へ、 それぞれ使者が派遣された。	日本人の海外渡航禁止。	1635
		○その後、 朝鮮で新しい国王が決まったとき ...日本から朝鮮へ、 徳川の将軍が代わったとき...朝鮮 から日本へ、 使いが送られた。 この朝鮮側からの使いを (²⁰)という。	ポルトガル人の来航禁止。 (鎖国の完成)	1639
	日本から、さつまいも、とうがら し、タバコが伝えられた。 『友だち』p.183を 読んでみよう。		朝鮮から日本へ、12回の通信使 が来ている。 その中には、学者や医者、陶工 などがいて、日本文化に大きな影 響を与えた。 当時、朝鮮から、木綿、人参が 伝えられた。	

西暦	朝鮮の主なできごと	朝鮮と日本のかかわり	日本の主なできごと	西暦															
1871 1876	朝鮮(李氏朝鮮) アメリカ艦隊に江華島を侵略される。 金や米を安い値段で、日本にもち出されたり、綿製品などの外国商品(日本製品など)を売りつけられた。	日朝修好条規(江華島条約)調印 1876年 (この条約は、「日本から朝鮮へ輸出された商品には税金をかけない」「朝鮮で日本人が悪いことをしても朝鮮の法律でさばけない」という不平等条約であった。)	明治維新。 「征韓」論争。 江華島事件(日本軍艦が、朝鮮の江華島を侵略)。 西南戦争がおこる。	1868 1873 1875 1876 1877															
1882	壬午(じんご)軍乱 (開国後の朝鮮で、進行中の軍制改革に不満をもつ軍人を大院君が利用してソウルでクーデターをおこし、日本公使館をおそった。) 朝米修好通商条約に調印。	朝鮮に対する侵略 																	
1885	イギリス艦隊が巨文島を占領。																		
1894	甲午(こうご)農民戦争(または、東学党の乱という) (外国勢力の追放と、政治の改革をめざす数十万人の農民が、東学を信仰する人々を中心に立ち上がった。) 政府は、農民軍のはげしい闘いをおさえられずに、清に援軍を求める。 ↓ 日清戦争の戦場となる。		(²¹ 日清戦争) ←	朝鮮政府が清に出兵を求めたのに対抗して、軍隊を朝鮮に送る。 日英同盟。	1894 1902														
1897	韓国 国号が「大韓帝国」となる。	日韓議定書、第一次日韓協約。	日露戦争。	1904															
1905	反日義兵の戦いと抗日運動がはげしくなる。	第二次日韓協約。 → 日本が優位の (²² 不平等条約) 第三次日韓協約。	ポーツマス条約。	1905															
1907	安重根が伊藤博文を射殺する。			1907															
1909	韓国「併合」条約。	(²³ 韓国「併合」条約) を結ぶ。 会社令公布。 (²⁴ 土地調査事業) 開始。	→ 朝鮮の多くの農民から、 (²⁵ 農地) を奪う。																
1910	日本領																		
1911	朝鮮における日本人の土地所有の増加 	日本政府、「朝鮮教育令」を公布。 (これは、朝鮮人に「天皇に忠義をつくす臣民」となることを無理に押しつけるねらいをもつ命令であった。)	第一次世界大戦が始まる(～18) 富山から米騒動が始まる。	大正 1914 1918															
1919	(²⁶ 3・1独立運動) (ソウルで日本からの独立を求める独立宣言が読み上げられた後、数千人の民衆が、独立万歳とさけんでデモ行進をおこした。これが、朝鮮全土で3カ月にわたり、数十万人の参加する運動となった。)	朝鮮教育令に基づいて行われた教育内容は、朝鮮の歴史・地理教育を禁止し、朝鮮語の授業を朝鮮の国でほとんどなくして日本語を国語とするものであった。 <table><tr><th colspan="3">朝鮮の学校での朝鮮語の授業時数 (毎週・全学年での合計)</th></tr><tr><th></th><th>国語(日本語)</th><th>朝鮮語及び漢文</th></tr><tr><td>1911年教育令</td><td>40時間</td><td>22時間</td></tr><tr><td>1922年教育令</td><td>64時間</td><td>20時間</td></tr><tr><td>1938年教育令</td><td colspan="2">国語を常用、 朝鮮語は随意科目</td></tr></table>	朝鮮の学校での朝鮮語の授業時数 (毎週・全学年での合計)				国語(日本語)	朝鮮語及び漢文	1911年教育令	40時間	22時間	1922年教育令	64時間	20時間	1938年教育令	国語を常用、 朝鮮語は随意科目		全国水平社ができる。 (²⁷ 関東大震災) のときに関東で、6000人以上の在日朝鮮人が虐殺される。	時代 1922 1923
朝鮮の学校での朝鮮語の授業時数 (毎週・全学年での合計)																			
	国語(日本語)	朝鮮語及び漢文																	
1911年教育令	40時間	22時間																	
1922年教育令	64時間	20時間																	
1938年教育令	国語を常用、 朝鮮語は随意科目																		

西暦	朝鮮の主なできごと	朝鮮と日本のかかわり	日本の主なできごと	西暦
1871	朝鮮 (李氏朝鮮)	日朝修好条規(江華島条約)調印 1876年 (この条約は、「日本から朝鮮へ輸出された商品には税金をかけない」「朝鮮で日本人が悪いことをしても朝鮮の法律でさばけない」という不平等条約であった。)	明治維新。 「征韓」論争。	1868
1876			江華島事件(日本軍艦が、朝鮮の江華島を侵略)。	1873
1882			西南戦争がおこる。	1875
1885				1876
1894	甲午(こうご)農民戦争(または、東学党の乱という) (外国勢力の追放と、政治の改革をめざす数十万人の農民が、東学を信仰する人々を中心に立ち上がった。)	朝鮮に対する侵略		1877
1897	壬午(じんご)軍乱 (開国後の朝鮮で、進行中の軍制改革に不満をもつ軍人を大院君が利用してソウルでクーデターをおこし、日本公使館をおそった。) 朝米修好通商条約に調印。			
1899	イギリス艦隊が巨文島を占領。			
1905	甲午(こうご)農民戦争(または、東学党の乱という) (外国勢力の追放と、政治の改革をめざす数十万人の農民が、東学を信仰する人々を中心に立ち上がった。)			
1910	政府は、農民軍のはげしい闘いをおさえられずに、清に援軍を求める。			
1911	日清戦争の戦場となる。			
1912	↓			
1913	日清戦争の戦場となる。			
1914	↓			
1915	日清戦争の戦場となる。			
1916	↓			
1917	日清戦争の戦場となる。			
1918	↓			
1919	↓			
1920	↓			
1921	↓			
1922	↓			
1923	↓			
1924	↓			
1925	↓			
1926	↓			
1927	↓			
1928	↓			
1929	↓			
1930	↓			
1931	↓			
1932	↓			
1933	↓			
1934	↓			
1935	↓			
1936	↓			
1937	↓			
1938	↓			
1939	↓			
1940	↓			
1941	↓			
1942	↓			
1943	↓			
1944	↓			
1945	↓			
1946	↓			
1947	↓			
1948	↓			
1949	↓			
1950	↓			
1951	↓			
1952	↓			
1953	↓			
1954	↓			
1955	↓			
1956	↓			
1957	↓			
1958	↓			
1959	↓			
1960	↓			
1961	↓			
1962	↓			
1963	↓			
1964	↓			
1965	↓			
1966	↓			
1967	↓			
1968	↓			
1969	↓			
1970	↓			
1971	↓			
1972	↓			
1973	↓			
1974	↓			
1975	↓			
1976	↓			
1977	↓			
1978	↓			
1979	↓			
1980	↓			
1981	↓			
1982	↓			
1983	↓			
1984	↓			
1985	↓			
1986	↓			
1987	↓			
1988	↓			
1989	↓			
1990	↓			
1991	↓			
1992	↓			
1993	↓			
1994	↓			
1995	↓			
1996	↓			
1997	↓			
1998	↓			
1999	↓			
2000	↓			
2001	↓			
2002	↓			
2003	↓			
2004	↓			
2005	↓			
2006	↓			
2007	↓			
2008	↓			
2009	↓			
2010	↓			
2011	↓			
2012	↓			
2013	↓			
2014	↓			
2015	↓			
2016	↓			
2017	↓			
2018	↓			
2019	↓			
2020	↓			
2021	↓			
2022	↓			
2023	↓			
2024	↓			
2025	↓			
2026	↓			
2027	↓			
2028	↓			
2029	↓			
2030	↓			
2031	↓			
2032	↓			
2033	↓			
2034	↓			
2035	↓			
2036	↓			
2037	↓			
2038	↓			
2039	↓			
2040	↓			
2041	↓			
2042	↓			
2043	↓			
2044	↓			
2045	↓			
2046	↓			
2047	↓			
2048	↓			
2049	↓			
2050	↓			
2051	↓			
2052	↓			
2053	↓			
2054	↓			
2055	↓			
2056	↓			
2057	↓			
2058	↓			
2059	↓			
2060	↓			
2061	↓			
2062	↓			
2063	↓			
2064	↓			
2065	↓			
2066	↓			
2067	↓			
2068	↓			
2069	↓			
2070	↓			
2071	↓			
2072	↓			
2073	↓			
2074	↓			
2075	↓			
2076	↓			
2077	↓			
2078	↓			
2079	↓			
2080	↓			
2081	↓			
2082	↓			
2083	↓			
2084	↓			
2085	↓			
2086	↓			
2087	↓			
2088	↓			
2089	↓			
2090	↓			
2091	↓			
2092	↓			
2093	↓			
2094	↓			
2095	↓			
2096	↓			
2097	↓			
2098	↓			
2099	↓			
2100	↓			

西暦	朝鮮の主なできごと		朝鮮と日本のかかわり	日本の主なできごと	西暦																																																																																																																																																																							
日本領	日本人(国内)と朝鮮人(朝鮮半島)の工場賃金 (単位:円) <table><tr><th rowspan="3">年度</th><th colspan="4">労働者の種類</th><th colspan="4">(単位:円)</th></tr><tr><th colspan="2">成年工</th><th colspan="2">幼年工</th><th colspan="2">内地人</th><th colspan="2">朝鮮人</th></tr><tr><th>男</th><th>女</th><th>男</th><th>女</th><th>男</th><th>女</th><th>男</th><th>女</th></tr><tr><td>1935年</td><td>1.83</td><td>1.06</td><td>0.90</td><td>0.49</td><td>0.81</td><td>0.49</td><td>0.30</td><td>0.30</td></tr><tr><td>1936年</td><td>1.85</td><td>1.04</td><td>0.92</td><td>0.47</td><td>0.82</td><td>0.41</td><td>0.30</td><td>0.30</td></tr><tr><td>1937年</td><td>1.88</td><td>0.98</td><td>0.95</td><td>0.48</td><td>0.85</td><td>0.42</td><td>0.32</td><td>0.32</td></tr></table> (「朝鮮経済統計年報」により作成) (細川嘉六『植民史』1941年9月東洋経済新報社 p.352より引用) 労働時間別労働者割合の日本人(国内)と朝鮮人(朝鮮半島)の比較表 (朝鮮は、1931(昭和6)年末の総府社会課の10人以上使用工場調査による) (日本(内地)は、1930(昭和5)年10月内閣統計局の労働統計実地調査による) <table><tr><th></th><th>8時間以内(%)</th><th>10時間以内(%)</th><th>12時間以内(%)</th><th>12時間以上(%)</th><th>不定</th></tr><tr><td>紡績(ぼうせき)</td><td>—</td><td>8.4</td><td>8.0</td><td>82.2</td><td>—</td></tr><tr><td>金 属</td><td>2.8</td><td>64.1</td><td>14.0</td><td>13.4</td><td>—</td></tr><tr><td>機械器具</td><td>—</td><td>69.8</td><td>17.5</td><td>7.1</td><td>—</td></tr><tr><td>窯(よう)業</td><td>—</td><td>19.7</td><td>24.5</td><td>22.0</td><td>0.7</td></tr><tr><td>化 学</td><td>1.8</td><td>21.4</td><td>9.1</td><td>23.0</td><td>0.5</td></tr><tr><td>朝鮮 製材及び木製品</td><td>—</td><td>5.2</td><td>27.3</td><td>67.2</td><td>—</td></tr><tr><td>印刷及び製本</td><td>6.3</td><td>81.7</td><td>2.2</td><td>0.3</td><td>—</td></tr><tr><td>食 料 品</td><td>—</td><td>9.8</td><td>23.1</td><td>10.4</td><td>55.7</td></tr><tr><td>ガス及び電気</td><td>—</td><td>1.2</td><td>34.9</td><td>—</td><td>31.4</td></tr><tr><td>そ の 他</td><td>—</td><td>50.2</td><td>20.5</td><td>25.5</td><td>—</td></tr><tr><td>総 計</td><td>0.8</td><td>28.7</td><td>11.9</td><td>46.9</td><td>0.3</td></tr><tr><td>機械器具</td><td>2.7</td><td>88.3</td><td>9.0</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>内地 紡績(ぼうせき)</td><td>—</td><td>38.3</td><td>61.2</td><td>0.4</td><td>—</td></tr><tr><td>飲 食 料 品</td><td>4.5</td><td>80.0</td><td>18.6</td><td>0.2</td><td>—</td></tr><tr><td>総 数</td><td>1.4</td><td>45.3</td><td>43.6</td><td>0.3</td><td>—</td></tr></table> (細川嘉六『植民史』1941年9月東洋経済新報社 p.353より引用) 関東大震災の時に 殺された朝鮮人の人数 <table><tr><th>場 所</th><th>殺された朝鮮人</th></tr><tr><td>東 京</td><td>1,347人</td></tr><tr><td>神奈川県</td><td>4,106人</td></tr><tr><td>埼 玉 県</td><td>588人</td></tr><tr><td>千葉県</td><td>324人</td></tr><tr><td>栃 木 県</td><td>8人</td></tr><tr><td>茨 城 県</td><td>5人</td></tr><tr><td>群馬県</td><td>37人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>6,415人</td></tr></table>					年度	労働者の種類				(単位:円)				成年工		幼年工		内地人		朝鮮人		男	女	男	女	男	女	男	女	1935年	1.83	1.06	0.90	0.49	0.81	0.49	0.30	0.30	1936年	1.85	1.04	0.92	0.47	0.82	0.41	0.30	0.30	1937年	1.88	0.98	0.95	0.48	0.85	0.42	0.32	0.32		8時間以内(%)	10時間以内(%)	12時間以内(%)	12時間以上(%)	不定	紡績(ぼうせき)	—	8.4	8.0	82.2	—	金 属	2.8	64.1	14.0	13.4	—	機械器具	—	69.8	17.5	7.1	—	窯(よう)業	—	19.7	24.5	22.0	0.7	化 学	1.8	21.4	9.1	23.0	0.5	朝鮮 製材及び木製品	—	5.2	27.3	67.2	—	印刷及び製本	6.3	81.7	2.2	0.3	—	食 料 品	—	9.8	23.1	10.4	55.7	ガス及び電気	—	1.2	34.9	—	31.4	そ の 他	—	50.2	20.5	25.5	—	総 計	0.8	28.7	11.9	46.9	0.3	機械器具	2.7	88.3	9.0	—	—	内地 紡績(ぼうせき)	—	38.3	61.2	0.4	—	飲 食 料 品	4.5	80.0	18.6	0.2	—	総 数	1.4	45.3	43.6	0.3	—	場 所	殺された朝鮮人	東 京	1,347人	神奈川県	4,106人	埼 玉 県	588人	千葉県	324人	栃 木 県	8人	茨 城 県	5人	群馬県	37人	合 計	6,415人	
	年度	労働者の種類					(単位:円)																																																																																																																																																																					
		成年工		幼年工			内地人		朝鮮人																																																																																																																																																																			
		男	女	男	女	男	女	男	女																																																																																																																																																																			
	1935年	1.83	1.06	0.90	0.49	0.81	0.49	0.30	0.30																																																																																																																																																																			
	1936年	1.85	1.04	0.92	0.47	0.82	0.41	0.30	0.30																																																																																																																																																																			
	1937年	1.88	0.98	0.95	0.48	0.85	0.42	0.32	0.32																																																																																																																																																																			
		8時間以内(%)	10時間以内(%)	12時間以内(%)	12時間以上(%)	不定																																																																																																																																																																						
	紡績(ぼうせき)	—	8.4	8.0	82.2	—																																																																																																																																																																						
	金 属	2.8	64.1	14.0	13.4	—																																																																																																																																																																						
機械器具	—	69.8	17.5	7.1	—																																																																																																																																																																							
窯(よう)業	—	19.7	24.5	22.0	0.7																																																																																																																																																																							
化 学	1.8	21.4	9.1	23.0	0.5																																																																																																																																																																							
朝鮮 製材及び木製品	—	5.2	27.3	67.2	—																																																																																																																																																																							
印刷及び製本	6.3	81.7	2.2	0.3	—																																																																																																																																																																							
食 料 品	—	9.8	23.1	10.4	55.7																																																																																																																																																																							
ガス及び電気	—	1.2	34.9	—	31.4																																																																																																																																																																							
そ の 他	—	50.2	20.5	25.5	—																																																																																																																																																																							
総 計	0.8	28.7	11.9	46.9	0.3																																																																																																																																																																							
機械器具	2.7	88.3	9.0	—	—																																																																																																																																																																							
内地 紡績(ぼうせき)	—	38.3	61.2	0.4	—																																																																																																																																																																							
飲 食 料 品	4.5	80.0	18.6	0.2	—																																																																																																																																																																							
総 数	1.4	45.3	43.6	0.3	—																																																																																																																																																																							
場 所	殺された朝鮮人																																																																																																																																																																											
東 京	1,347人																																																																																																																																																																											
神奈川県	4,106人																																																																																																																																																																											
埼 玉 県	588人																																																																																																																																																																											
千葉県	324人																																																																																																																																																																											
栃 木 県	8人																																																																																																																																																																											
茨 城 県	5人																																																																																																																																																																											
群馬県	37人																																																																																																																																																																											
合 計	6,415人																																																																																																																																																																											
1926	(²⁸ 6・1万歳運動) → 日本への支配に対する朝鮮民衆の抵抗運動 →		満州事変がおこる。	1931																																																																																																																																																																								
1929	光州学生運動。	『友だち』pp.183-182 「なぜ日本にいるの」と pp.183-182の上の写真年表 を読もう。 (²⁹ 強制連行)始まる。← (³⁰ 創氏改名)...朝鮮人の名前を やめさせ、日本人のような名 前に、強制的に変えさせる。	「皇国臣民の誓詞」制定、日中戦争始まる。	昭和時代																																																																																																																																																																								
1934	朝鮮人民革命軍がつくられ、日本軍と戦い始める。		第二次世界大戦。	1937																																																																																																																																																																								
1939	日本が強要した創氏改名により、朝鮮名を奪われる。			1939																																																																																																																																																																								
	日本における朝鮮人の数 <table><tr><th>年</th><th>数</th></tr><tr><td>九三</td><td>3,822人</td></tr><tr><td>九四</td><td>6,046人</td></tr><tr><td>九五</td><td>17,463人</td></tr><tr><td>九六</td><td>35,886人</td></tr><tr><td>九七</td><td>48,774人</td></tr><tr><td>九八</td><td>112,051人</td></tr><tr><td>九九</td><td>187,102人</td></tr><tr><td>一〇</td><td>346,515人</td></tr><tr><td>一一</td><td>387,901人</td></tr><tr><td>一二</td><td>437,619人</td></tr><tr><td>一三</td><td>673,896人</td></tr><tr><td>一四</td><td>720,618人</td></tr><tr><td>一五</td><td>822,214人</td></tr><tr><td>一六</td><td>1,030,394人</td></tr><tr><td>一七</td><td>1,469,220人</td></tr><tr><td>一八</td><td>1,768,180人</td></tr><tr><td>一九</td><td>2,100,000人</td></tr></table>				年	数	九三	3,822人	九四	6,046人	九五	17,463人	九六	35,886人	九七	48,774人	九八	112,051人	九九	187,102人	一〇	346,515人	一一	387,901人	一二	437,619人	一三	673,896人	一四	720,618人	一五	822,214人	一六	1,030,394人	一七	1,469,220人	一八	1,768,180人	一九	2,100,000人	太平洋戦争始まる。	1941																																																																																																																																		
年	数																																																																																																																																																																											
九三	3,822人																																																																																																																																																																											
九四	6,046人																																																																																																																																																																											
九五	17,463人																																																																																																																																																																											
九六	35,886人																																																																																																																																																																											
九七	48,774人																																																																																																																																																																											
九八	112,051人																																																																																																																																																																											
九九	187,102人																																																																																																																																																																											
一〇	346,515人																																																																																																																																																																											
一一	387,901人																																																																																																																																																																											
一二	437,619人																																																																																																																																																																											
一三	673,896人																																																																																																																																																																											
一四	720,618人																																																																																																																																																																											
一五	822,214人																																																																																																																																																																											
一六	1,030,394人																																																																																																																																																																											
一七	1,469,220人																																																																																																																																																																											
一八	1,768,180人																																																																																																																																																																											
一九	2,100,000人																																																																																																																																																																											
1944	朝鮮に徴兵令。	→ 朝鮮の人々が、日本軍の兵隊として、最前線に投入される。	広島・長崎に(³¹ 原子爆弾)が投下される。→日本敗戦。	1945																																																																																																																																																																								
1945	朝鮮解放。	(³² 第二次世界大戦)終わる。	日本国憲法公布。	1946																																																																																																																																																																								
	朝鮮人民共和国創立を宣言。	国際連合成立。																																																																																																																																																																										
1946	民主主義民族戦線つくられる。																																																																																																																																																																											
1948	大韓民国	5月、南朝鮮で単独選挙。 8月に大韓民国が発足。 9月に、朝鮮民主主義共和国が成立。																																																																																																																																																																										
1950	朝鮮民主主義共和国	(³³ 朝鮮戦争)がおこる。 (~53)	サンフランシスコ対日講和条約。 日米安全保障条約。	1951																																																																																																																																																																								
1952	人民共和国	李承晩平和ライン宣言。																																																																																																																																																																										
1953	共和国	7月停戦協定。8月、米韓相互防衛条約。																																																																																																																																																																										
1958	国	日韓の赤十字間で在日朝鮮人帰国協定調印。																																																																																																																																																																										

西暦	朝鮮の主なできごと	朝鮮と日本のかかわり	日本の主なできごと	西暦																																																																																																																																																																						
日本領	日本人(国内)と朝鮮人(朝鮮半島)の工場賃金 (単位:円) <table><thead><tr><th rowspan="3">年度</th><th colspan="4">労働者の種類</th><th colspan="4">幼年工</th></tr><tr><th colspan="2">成年工</th><th colspan="2"></th><th colspan="2"></th><th colspan="2"></th></tr><tr><th>内地人(日本人)</th><th>朝鮮人</th><th>内地人</th><th>朝鮮人</th><th>内地人</th><th>朝鮮人</th><th>内地人</th><th>朝鮮人</th></tr></thead><tbody><tr><td>1935年</td><td>男 1.83 女 1.06</td><td>男 0.90 女 0.49</td><td>男 0.81 女 0.49</td><td>男 0.49 女 0.30</td><td>男 0.82 女 0.41</td><td>男 0.30 女 0.32</td><td>男 0.82 女 0.41</td><td>男 0.30 女 0.32</td></tr><tr><td>1936年</td><td>男 1.85 女 1.04</td><td>男 0.92 女 0.47</td><td>男 0.82 女 0.47</td><td>男 0.41 女 0.30</td><td>男 0.82 女 0.41</td><td>男 0.30 女 0.32</td><td>男 0.82 女 0.41</td><td>男 0.30 女 0.32</td></tr><tr><td>1937年</td><td>男 1.88 女 0.98</td><td>男 0.95 女 0.48</td><td>男 0.85 女 0.48</td><td>男 0.42 女 0.32</td><td>男 0.85 女 0.42</td><td>男 0.32 女 0.32</td><td>男 0.85 女 0.42</td><td>男 0.32 女 0.32</td></tr></tbody></table> (「朝鮮経済統計年報」により作成) (細川嘉六『植民史』1941年9月東洋経済新報社 p.352より引用) 労働時間別労働者割合の日本人(国内)と朝鮮人(朝鮮半島)の比較表 (朝鮮は、1931(昭和6)年末の総府社会課の10人以上使用工場調査による) (日本(内地)は、1930(昭和5)年10月内閣統計局の労働統計実地調査による) <table><thead><tr><th></th><th>8時間以内(%)</th><th>10時間以内(%)</th><th>12時間以内(%)</th><th>12時間以上(%)</th><th>不定</th></tr></thead><tbody><tr><td>紡績(ぼうせき)</td><td>—</td><td>8.4</td><td>8.0</td><td>82.2</td><td>—</td></tr><tr><td>金 属</td><td>2.8</td><td>64.1</td><td>14.0</td><td>13.4</td><td>—</td></tr><tr><td>機械器具</td><td>—</td><td>69.8</td><td>17.5</td><td>7.1</td><td>—</td></tr><tr><td>窯(よう)業</td><td>—</td><td>19.7</td><td>24.5</td><td>22.0</td><td>0.7</td></tr><tr><td>化学</td><td>1.8</td><td>21.4</td><td>9.1</td><td>23.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td>朝鮮 製材及び木製品</td><td>—</td><td>5.2</td><td>27.3</td><td>67.2</td><td>—</td></tr><tr><td>印刷及び製本</td><td>6.3</td><td>81.7</td><td>2.2</td><td>0.3</td><td>—</td></tr><tr><td>食 料 品</td><td>—</td><td>9.8</td><td>23.1</td><td>10.4</td><td>55.7</td></tr><tr><td>ガス及び電気</td><td>—</td><td>1.2</td><td>34.9</td><td>—</td><td>31.4</td></tr><tr><td>そ の 他</td><td>—</td><td>50.2</td><td>20.5</td><td>25.5</td><td>—</td></tr><tr><td>総 計</td><td>0.8</td><td>28.7</td><td>11.9</td><td>46.9</td><td>0.3</td></tr><tr><td>内地 機械器具</td><td>2.7</td><td>88.3</td><td>9.0</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>紡績(ぼうせき)</td><td>—</td><td>38.3</td><td>61.2</td><td>0.4</td><td>—</td></tr><tr><td>飲 食 料 品</td><td>4.5</td><td>80.0</td><td>18.6</td><td>0.2</td><td>—</td></tr><tr><td>総 数</td><td>1.4</td><td>45.3</td><td>43.6</td><td>0.3</td><td>—</td></tr></tbody></table> (細川嘉六『植民史』1941年9月東洋経済新報社 p.353より引用) 関東大震災の時に 殺された朝鮮人の人数 <table><thead><tr><th>場 所</th><th>殺された朝鮮人</th></tr></thead><tbody><tr><td>東 京</td><td>1,347人</td></tr><tr><td>神奈川県</td><td>4,106人</td></tr><tr><td>埼 玉 県</td><td>588人</td></tr><tr><td>千葉県</td><td>324人</td></tr><tr><td>栃 木 県</td><td>8人</td></tr><tr><td>茨 城 県</td><td>5人</td></tr><tr><td>群馬県</td><td>37人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>6,415人</td></tr></tbody></table>			年度	労働者の種類				幼年工				成年工								内地人(日本人)	朝鮮人	内地人	朝鮮人	内地人	朝鮮人	内地人	朝鮮人	1935年	男 1.83 女 1.06	男 0.90 女 0.49	男 0.81 女 0.49	男 0.49 女 0.30	男 0.82 女 0.41	男 0.30 女 0.32	男 0.82 女 0.41	男 0.30 女 0.32	1936年	男 1.85 女 1.04	男 0.92 女 0.47	男 0.82 女 0.47	男 0.41 女 0.30	男 0.82 女 0.41	男 0.30 女 0.32	男 0.82 女 0.41	男 0.30 女 0.32	1937年	男 1.88 女 0.98	男 0.95 女 0.48	男 0.85 女 0.48	男 0.42 女 0.32	男 0.85 女 0.42	男 0.32 女 0.32	男 0.85 女 0.42	男 0.32 女 0.32		8時間以内(%)	10時間以内(%)	12時間以内(%)	12時間以上(%)	不定	紡績(ぼうせき)	—	8.4	8.0	82.2	—	金 属	2.8	64.1	14.0	13.4	—	機械器具	—	69.8	17.5	7.1	—	窯(よう)業	—	19.7	24.5	22.0	0.7	化学	1.8	21.4	9.1	23.0	0.6	朝鮮 製材及び木製品	—	5.2	27.3	67.2	—	印刷及び製本	6.3	81.7	2.2	0.3	—	食 料 品	—	9.8	23.1	10.4	55.7	ガス及び電気	—	1.2	34.9	—	31.4	そ の 他	—	50.2	20.5	25.5	—	総 計	0.8	28.7	11.9	46.9	0.3	内地 機械器具	2.7	88.3	9.0	—	—	紡績(ぼうせき)	—	38.3	61.2	0.4	—	飲 食 料 品	4.5	80.0	18.6	0.2	—	総 数	1.4	45.3	43.6	0.3	—	場 所	殺された朝鮮人	東 京	1,347人	神奈川県	4,106人	埼 玉 県	588人	千葉県	324人	栃 木 県	8人	茨 城 県	5人	群馬県	37人	合 計	6,415人	
	年度	労働者の種類				幼年工																																																																																																																																																																				
		成年工																																																																																																																																																																								
		内地人(日本人)	朝鮮人	内地人	朝鮮人	内地人	朝鮮人	内地人	朝鮮人																																																																																																																																																																	
	1935年	男 1.83 女 1.06	男 0.90 女 0.49	男 0.81 女 0.49	男 0.49 女 0.30	男 0.82 女 0.41	男 0.30 女 0.32	男 0.82 女 0.41	男 0.30 女 0.32																																																																																																																																																																	
	1936年	男 1.85 女 1.04	男 0.92 女 0.47	男 0.82 女 0.47	男 0.41 女 0.30	男 0.82 女 0.41	男 0.30 女 0.32	男 0.82 女 0.41	男 0.30 女 0.32																																																																																																																																																																	
	1937年	男 1.88 女 0.98	男 0.95 女 0.48	男 0.85 女 0.48	男 0.42 女 0.32	男 0.85 女 0.42	男 0.32 女 0.32	男 0.85 女 0.42	男 0.32 女 0.32																																																																																																																																																																	
		8時間以内(%)	10時間以内(%)	12時間以内(%)	12時間以上(%)	不定																																																																																																																																																																				
	紡績(ぼうせき)	—	8.4	8.0	82.2	—																																																																																																																																																																				
	金 属	2.8	64.1	14.0	13.4	—																																																																																																																																																																				
機械器具	—	69.8	17.5	7.1	—																																																																																																																																																																					
窯(よう)業	—	19.7	24.5	22.0	0.7																																																																																																																																																																					
化学	1.8	21.4	9.1	23.0	0.6																																																																																																																																																																					
朝鮮 製材及び木製品	—	5.2	27.3	67.2	—																																																																																																																																																																					
印刷及び製本	6.3	81.7	2.2	0.3	—																																																																																																																																																																					
食 料 品	—	9.8	23.1	10.4	55.7																																																																																																																																																																					
ガス及び電気	—	1.2	34.9	—	31.4																																																																																																																																																																					
そ の 他	—	50.2	20.5	25.5	—																																																																																																																																																																					
総 計	0.8	28.7	11.9	46.9	0.3																																																																																																																																																																					
内地 機械器具	2.7	88.3	9.0	—	—																																																																																																																																																																					
紡績(ぼうせき)	—	38.3	61.2	0.4	—																																																																																																																																																																					
飲 食 料 品	4.5	80.0	18.6	0.2	—																																																																																																																																																																					
総 数	1.4	45.3	43.6	0.3	—																																																																																																																																																																					
場 所	殺された朝鮮人																																																																																																																																																																									
東 京	1,347人																																																																																																																																																																									
神奈川県	4,106人																																																																																																																																																																									
埼 玉 県	588人																																																																																																																																																																									
千葉県	324人																																																																																																																																																																									
栃 木 県	8人																																																																																																																																																																									
茨 城 県	5人																																																																																																																																																																									
群馬県	37人																																																																																																																																																																									
合 計	6,415人																																																																																																																																																																									
1926	(²⁸)	→ 日本への支配に対する朝鮮民衆の抵抗運動 →																																																																																																																																																																								
1929	光州学生運動。	『友だち』 pp.183-182 「なぜ日本にいるの」と pp.183-182の上の写真年表 を読もう。 (²⁹) 始まる。 ← (³⁰) ...朝鮮人の名前を やめさせ、日本人のような名 前に、強制的に変えさせる。	満州事変がおこる。	1931																																																																																																																																																																						
1934	朝鮮人民革命軍がつくられ、日本軍と戦い始める。		「皇国臣民の誓詞」制定、日中戦争始まる。	1937																																																																																																																																																																						
1939	日本が強要した創氏改名により、朝鮮名を奪われる。		第二次世界大戦。	1939																																																																																																																																																																						
				昭和時代																																																																																																																																																																						